

第17章 人権問題【問55～問58】

1 今の日本社会に対する意識【問55】

【全体の状況】

今の日本を基本的人権が尊重されている社会だと思うか尋ねたところ、「そう思う」が28.2%であった。

一方、「そう思わない」は25.0%であった。また、「どちらともいえない」は42.7%であった。

(図表17-1-1)

図表17-1-1 今の日本社会に対する意識



【地域別の状況】

地域別にみると、「そう思う」は、相模原が35.6%で最も多かった。

一方、「そう思わない」は、県西が31.0%で最も多かった。(図表17-1-2)

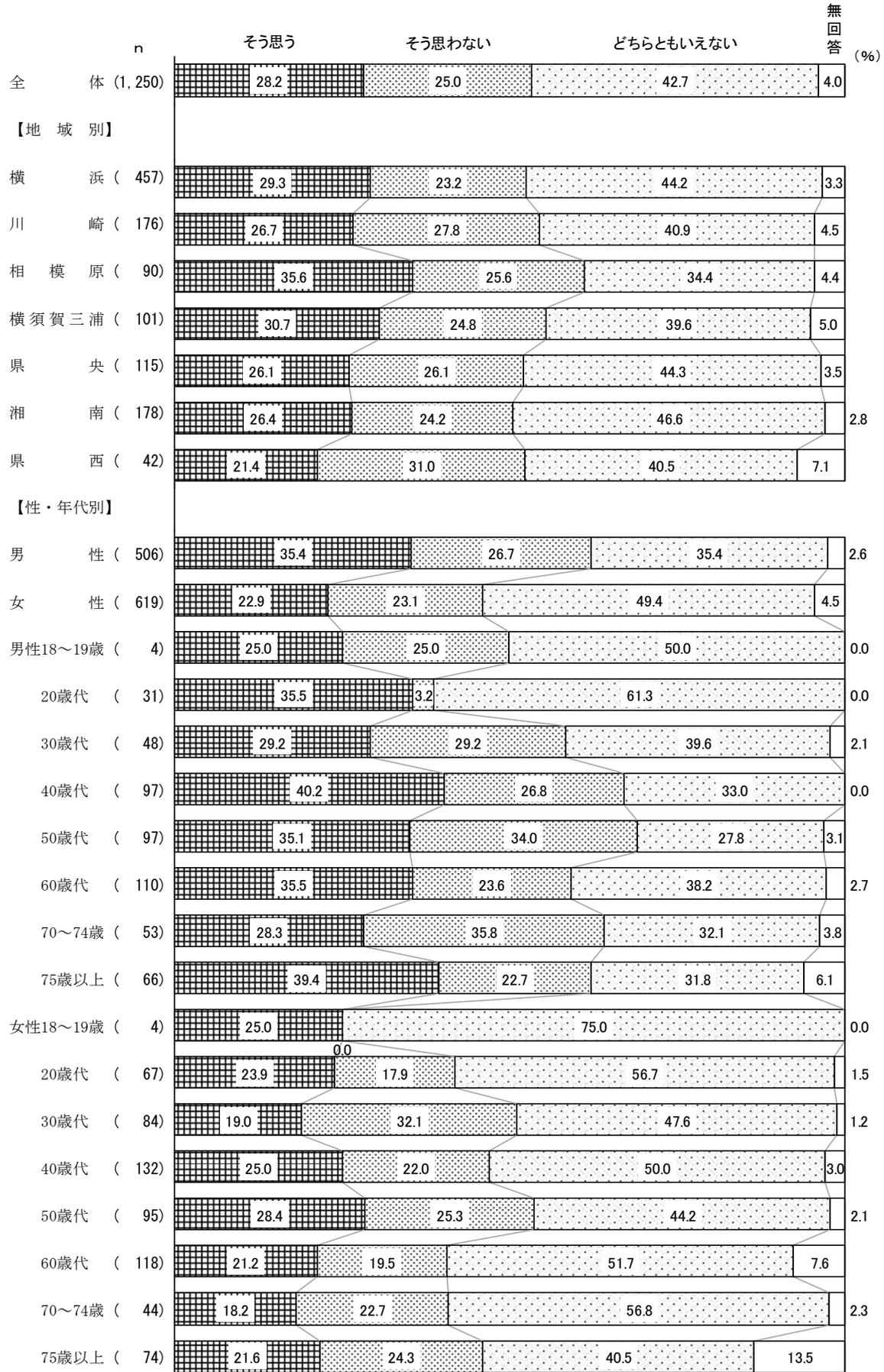
【性・年代別の状況】

性別にみると、「そう思う」は、男性(35.4%)が女性(22.9%)を12.5ポイント上回った。

性・年代別にみると、「そう思う」は、男性の40歳代が40.2%で最も多かった。

一方、「そう思わない」は、男性の70～74歳が35.8%で最も多く、次いで男性の50歳代が34.0%であった。(図表17-1-2)

図表17-1-2 今の日本社会に対する意識—地域別、性・年代別

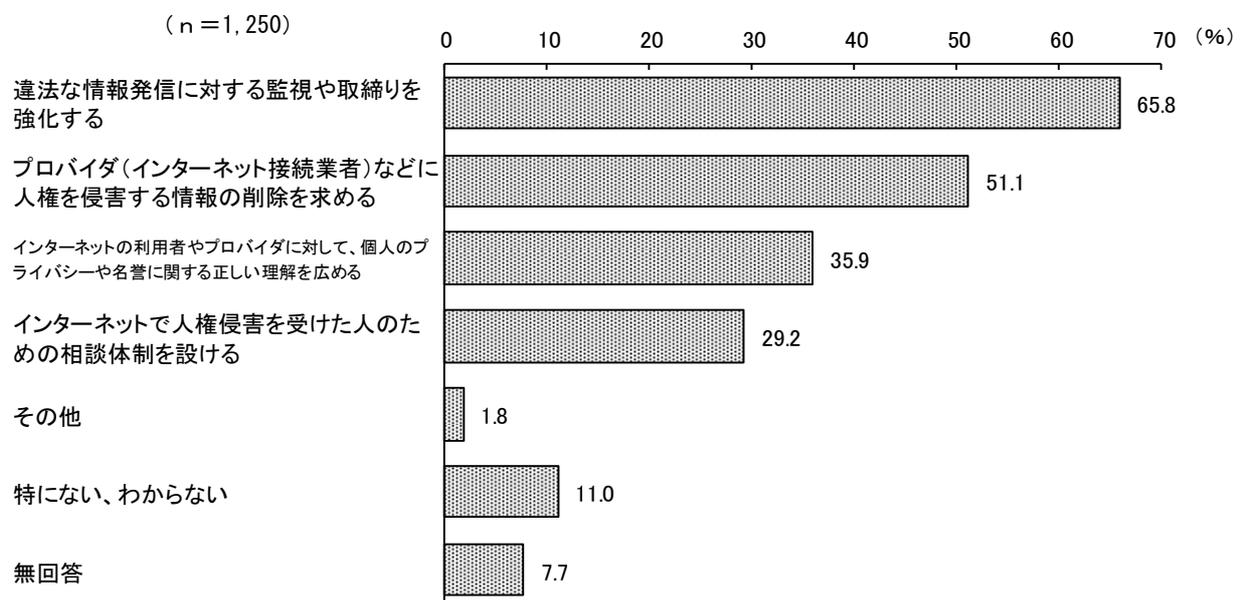


2 インターネットでの人権侵害を防ぐための取組【問56】

【全体の状況】

インターネットでの人権侵害を防ぐために、特に力を入れて取り組む必要があると思うことについて複数回答（3つまで）で尋ねたところ、「違法な情報発信に対する監視や取締りを強化する」が65.8%で最も多く、次いで「プロバイダ（インターネット接続業者）などに人権を侵害する情報の削除を求める」が51.1%となった。（図表17-2-1）

図表17-2-1 インターネットでの人権侵害を防ぐための取組（複数回答）



【地域別の状況】

地域別にみると、「違法な情報発信に対する監視や取締りを強化する」は、県西（76.2%）と相模原（70.0%）がともに7割以上で多かった。「プロバイダ（インターネット接続業者）などに人権を侵害する情報の削除を求める」は、県央が61.7%で最も多かった。（図表17-2-2）

【性・年代別の状況】

性別にみると、「違法な情報発信に対する監視や取締りを強化する」は、男性（69.4%）が女性（65.1%）を4.3ポイントわずかに上回った。

性・年代別にみると、「違法な情報発信に対する監視や取締りを強化する」は、サンプル数の少ない男性の18～19歳を除くと、男性の60歳代が74.5%で最も多く、次いで男性の50歳代が74.2%となった。「プロバイダ（インターネット接続業者）などに人権を侵害する情報の削除を求める」は、男性の60歳代が62.7%で最も多かった。（図表17-2-2）

図表17-2-2 インターネットでの人権侵害を防ぐための取組（複数回答）－地域別、性・年代別

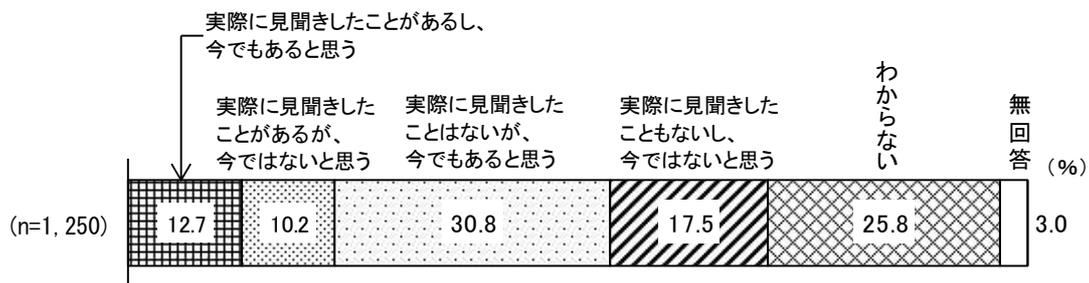
		(%)							
	n	違法な情報発信に対する監視や取締りを強化する	プロバイダ（インターネット事業者）などに人権を侵害する情報の削除を求める	ダイナミックにインターネットに関する正しい理解を広める	インターネットの利用者がプライバシーや名誉にわたる不正行為や被害を受けた	インターネットの相談体制を設ける	その他	特にない、わからない	無回答
全体	1,250	65.8	51.1	35.9	29.2	1.8	11.0	7.7	
【地域別】									
横浜	457	66.3	49.0	36.8	28.7	1.1	11.4	6.6	
川崎	176	62.5	46.0	34.7	34.1	2.8	10.8	10.2	
相模原	90	70.0	51.1	37.8	31.1	1.1	11.1	5.6	
横須賀三浦	101	63.4	43.6	30.7	25.7	1.0	13.9	10.9	
県央	115	69.6	61.7	34.8	32.2	3.5	7.0	6.1	
湘南	178	64.0	58.4	39.9	27.0	2.2	10.7	6.2	
県西	42	76.2	57.1	23.8	23.8	4.8	4.8	11.9	
【性・年代別】									
男性	506	69.4	53.0	34.4	28.3	2.0	9.7	6.7	
女性	619	65.1	51.1	37.0	31.5	1.8	10.7	7.3	
男性18～19歳	4	75.0	50.0	25.0	50.0	-	25.0	-	
20歳代	31	61.3	38.7	38.7	38.7	6.5	12.9	3.2	
30歳代	48	70.8	52.1	45.8	22.9	6.3	8.3	2.1	
40歳代	97	73.2	57.7	34.0	28.9	2.1	4.1	2.1	
50歳代	97	74.2	50.5	39.2	27.8	2.1	4.1	9.3	
60歳代	110	74.5	62.7	30.0	35.5	-	7.3	8.2	
70～74歳	53	69.8	60.4	26.4	22.6	-	13.2	7.5	
75歳以上	66	50.0	34.8	31.8	18.2	1.5	25.8	12.1	
女性18～19歳	4	50.0	-	75.0	50.0	25.0	-	-	
20歳代	67	52.2	53.7	47.8	31.3	1.5	9.0	1.5	
30歳代	84	73.8	58.3	39.3	45.2	2.4	2.4	3.6	
40歳代	132	68.9	60.6	38.6	35.6	2.3	4.5	3.8	
50歳代	95	71.6	56.8	42.1	32.6	3.2	2.1	8.4	
60歳代	118	65.3	47.5	33.9	28.0	-	18.6	7.6	
70～74歳	44	72.7	40.9	34.1	25.0	2.3	15.9	6.8	
75歳以上	74	48.6	29.7	20.3	14.9	-	28.4	21.6	

3 県内の同和地区や同和地区出身者に対する差別への意識【問57】

【全体の状況】

神奈川県内での、同和地区出身者に対する差別についてどう思うか尋ねたところ、「実際に見聞きしたことはないが、今でもあると思う」が30.8%で最も多く、「実際に見聞きしたこともないし、今ではないと思う」(17.5%)と「実際に見聞きしたことがあるし、今でもあると思う」(12.7%)が1割台で続いた。(図表17-3-1)

図表17-3-1 県内の同和地区や同和地区出身者に対する差別への意識



【地域別の状況】

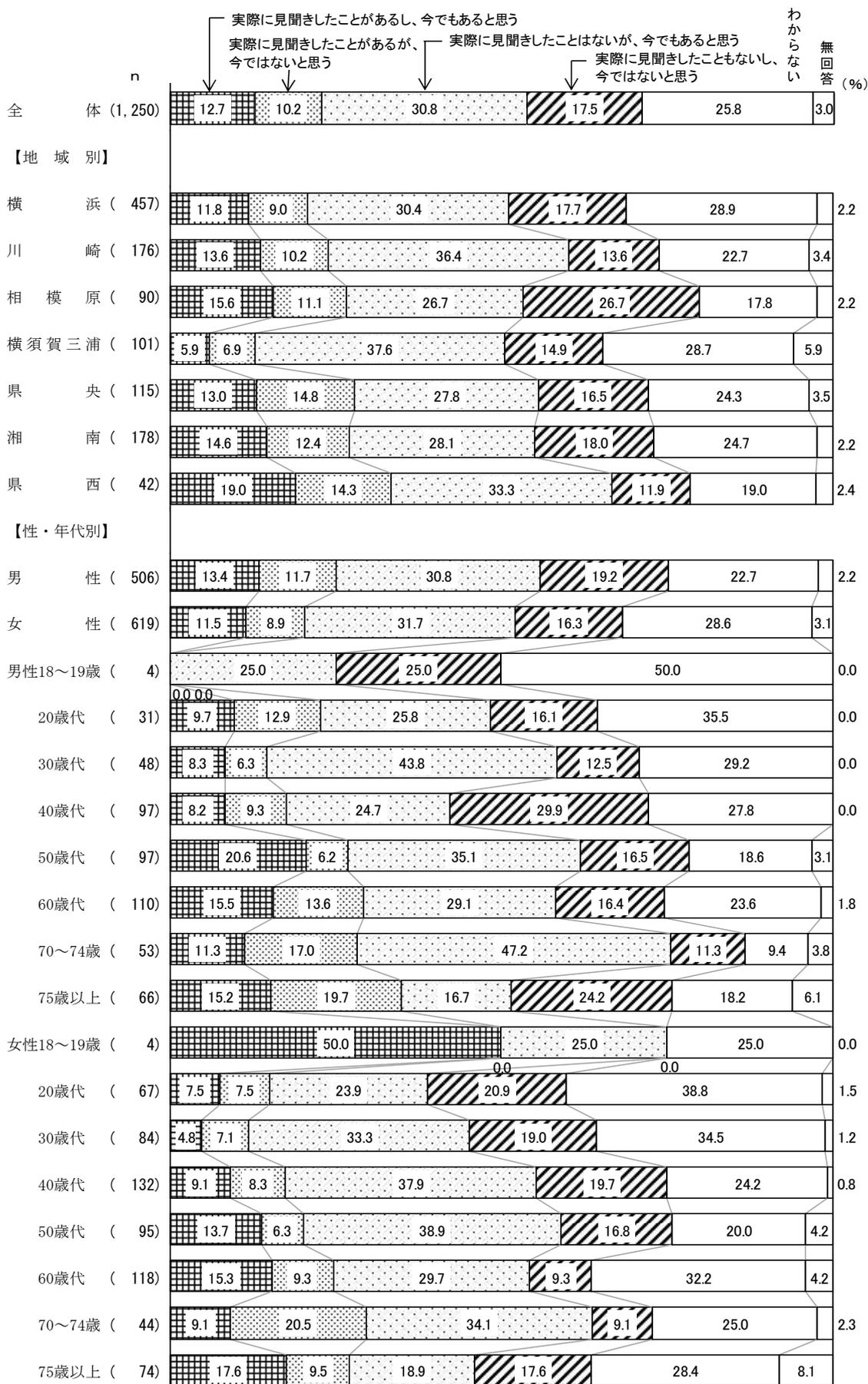
地域別にみると、「実際に見聞きしたことはないが、今でもあると思う」は、横須賀三浦が37.6%で最も多かった。(図表17-3-2)

【性・年代別の状況】

性別にみると、「実際に見聞きしたこともないし、今ではないと思う」は、男性(19.2%)が女性(16.3%)を2.9ポイントわずかに上回った。

性・年代別にみると、「実際に見聞きしたことはないが、今でもあると思う」は、男性の70～74歳が47.2%で最も多く、次いで男性の30歳代が43.8%であった。「実際に見聞きしたこともないし、今ではないと思う」は、男性の40歳代が29.9%で最も多かった。(図表17-3-2)

図表17-3-2 県内の同和地区や同和地区出身者に対する差別への意識—地域別、性・年代別

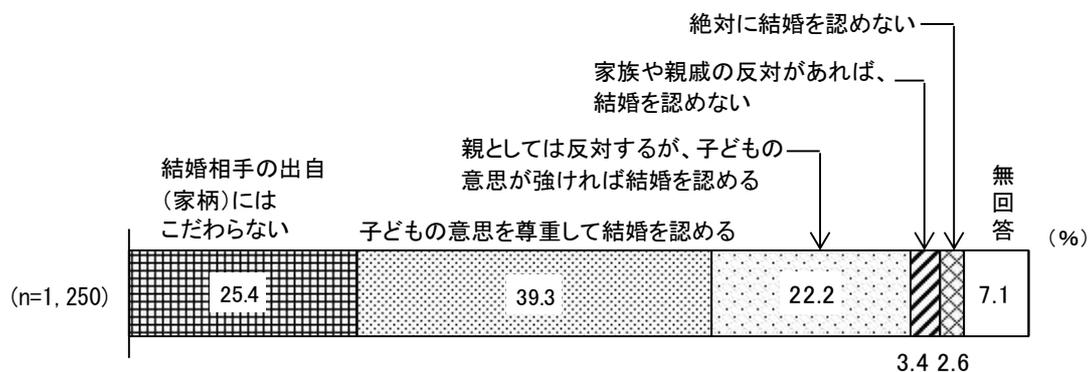


4 自分の子どもと同和地区出身者の結婚への意識【問58】

【全体の状況】

仮に、お子さんがいるとして、そのお子さんの結婚する相手が同和地区出身者であるとわかったら、どうするか尋ねたところ、「子どもの意思を尊重して結婚を認める」が39.3%で最も多く、「結婚相手の出自（家柄）にはこだわらない」（25.4%）と「親としては反対するが、子どもの意思が強ければ結婚を認める」（22.2%）が2割台で続いた。（図表17-4-1）

図表17-4-1 自分の子どもと同和地区出身者の結婚への意識



【地域別の状況】

地域別にみると、「子どもの意思を尊重して結婚を認める」は、湘南が47.2%で最も多く、次いで県西が42.9%であった。「結婚相手の出自（家柄）にはこだわらない」は、県西（16.7%）を除く6地域（21.3%～27.7%）がそれぞれ2割を超えた。（図表17-4-2）

【性・年代別の状況】

性別にみると、「結婚相手の出自（家柄）にはこだわらない」は、男性（29.4%）が女性（21.6%）を7.8ポイント上回った。

性・年代別にみると、「子どもの意思を尊重して結婚を認める」は、男性の50歳代が46.4%で最も多かった。「結婚相手の出自（家柄）にはこだわらない」は、サンプル数の少ない女性の18～19歳を除くと、女性の20歳代が40.3%で最も多かった。（図表17-4-2）

図表17-4-2 自分子どもと同和地区出身者の結婚への意識—地域別、性・年代別

